



現場で使うための押さえるべきポイントも含め、手入れの実践を習得。裏ワザ的な方法もあり、現場で活用できる情報がいっぱいでした。



JMA主催 エアーブラシセミナーレポート

text: REIKA NAGATA photo: TORU YOSHIKAWA



Fats Berry
谷崎 隆幸 TAKAYUKI TANIZAKI

株式会社ファッツベリーのヘアメイクアップアーティスト。世田谷区にサロンを2店舗経営するほか、広告・雑誌・コレクションなども数多く手掛ける。GLAYをはじめ、多くのミュージシャンのヘアメイクアップアーティストとしても活躍中の谷崎隆幸氏を講師として開催いたしました。

Air Brush Seminar Report

これからの時代の必須アイテム JMA主催 エアーブラシセミナーレポート

アートや演劇などのメイクで使われるイメージの強かったエアーブラシ。近年、道具の進化にとめない、その用途はより幅広く拡大し、ナチュラルメイクにも使われるほどに発達しています。今後ますますの普及が見込まれる、エアーブラシの技術をいち早く体得できるように、8月2日に「JMA主催 エアーブラシメイクアップセミナー」を開催いたしました。大盛況に終わった当日の様子をレポートいたします。

異業種の交流にもなり、 充実した一日に

個人会員の方々を中心に、ブライダルメイク、スチール撮影、メイク講師の方などをはじめ、メイクは未経験ながら、カラーに関わるお仕事にされている方など、総勢18名の色々なジャンルの方にご参加いただきました。もともとハリウッド映画の現場で、厚塗りせずに肌トラブルをカバーし、高画質に耐えうる肌づくりのために開発されたのがエアーブラシメイク。近年のハイビジョン画像に対応するのはもちろん、化粧くずれしにくく、何より自然な仕上がりに。参加者からも「思ったほど難しくなく、慣れれば素早く美しく仕上がると驚きの声。セミナーでは、普段交流のない異業種の方と話す機会にもなり、刺激の多い充実したものとなりました。」

エアーブラシ技術習得の 近道になることを目指しました

谷崎講師からは、エアーブラシを使いこなしてきたご自身の経験から、初心者でも速く上達できる方法を伝授していただきました。「セミナー開催にあたり、どのように教えたら上手くなるのかをあれこれ考えました。私自身を振り返ってみると、絵を描くことが好きだった為、メイクアップではなくまずは自由に描き、いつのまにか上達した、という感じでした。メイクアップでも同じように、色々試しているうちにマスターしていきました。エアーブラシは、数をこなすことが上達への近道です。とはいえ、私もあれこれ失敗も多かった為、受

まずはエアーブラシを知るために 基本の手入れ方法から

講師の皆さんには、最短で速回りしない流れを教えるよう心がけました。陥りやすい失敗例もわざと取り入れ、現場で起こる様々なケースに対応できるスキルを身に付けられるようにしました。

エアーブラシメイクの筆となるのがハンドピース（エアーブラシガン）。その手入れのためにも、分解・組み立ては、まず知っておくべきポイント。受講者には女性が多く、メ

カニカルなことは弱いのでは...という、谷崎講師の心配をよそに、丁寧な説明のおかげで、皆さんすんなり習得されていました。「セミナーを受けずに、ひとりで勉強していたら、きっと難しかったと思う」という声も多く聞かれました。次に、実際にエアーブラシを使った演習を開始。谷崎講師の説明に耳を傾ける、受講者の表情は真剣そのもの。用意されたキャンバスに向かって線を描いたり、狙ったところにエアーを吹き付けるなど、様々な練習メニューを実践してもらいました。会場はワイワイと盛り上がり、「自由に描けて楽しい」「まるでペンを持っているようで、思ったよりも簡単に使いやすい」という方がたくさんいらっしゃいました。皆さん初めて使用するとは思えない上達ぶり、その熱意や集中力にスタッフ一同感動。仕上がりが均一で美しく、思いのままにグラデーションがつけられるエアーブラシの魅力が、まずは実感いただけたひとコマでした。



谷崎講師が実際に手を取って教えてくれるシーンも。わからないことはすぐ聞ける、フランクな雰囲気の中で、和気あいあいと進行。



Air Brush Seminar Report

谷崎講師による デモンストレーション

ナチュラルメイクとイメージメイクを、2人のモデルで行ったデモンストレーション。美しく仕上がる過程を間近で見ることができ、参加者からはため息が。
ナチュラルメイクでは、エアープラシメイクアップのメリット、ベースメイクを簡単スピーディーに仕上げられる点や、薄くつづくのにカバー力がある点、肌に触れる事なく



いざ、ペアモデルでの メイクアップ実習

メイクアップを職業としている方々は、メイクのコツをつかんでいる為のみ込みも早く、自然で美しいベースメイクを仕上げ、ポイントメイクにも挑戦されていました。そして、メイクアップ未経験の方も、皆さんとても楽しそうに実習し、初めてとは思えない仕上がりでした。メイクされる側になると、直接肌に触れない為にリラクセスできる感じを体感できたよう。ホクロやニキビ跡などもほとんど目立たなくらいにカバーできるのに、透明感が失われられない仕上がりには、皆さん満足の様子でした。



▲ 手を動かさず、エアーを吹き出しながら色をのせるイメージ。敏感な肌の人にも、こすらないので刺激なくメイクが可能。皆さん、メイクされる側の心地よさも実感できた様子でした。

仕上げる為、モデルにストレスフリーである点などを実感。エアリー感のある自然なベースメイクは、ハンドメイクやスポンジでは表現できないものです。
イメージメイクは、エアープラシの特徴、グラデーションの美しさにポイントを置いた美演に。ハンドメイクでは難しい白塗りを美しく仕上げ、赤・青のグラデーションを生かすベースを作り、通常の化粧品では出すことの出来ない色のグラデーションを表現。顔の半分は、骨格の凹凸をモノトーンでグラデーションで表現したドクロのメイクに。奥行きのあるメイクでインパクトのある仕上がりとなりました。



▲ 極薄く重ねられるので、ちょうど良い濃さで止めることができます。シリコンファンデーションならはくずれにくさもポイント。

▲ 唇、アイメイクもエアープラシでメイク可能。ベースメイクでは、摩擦がない為、コントロールカラーがファンデーションと混ざって濁ったりすることがないのもメリットのひとつ。

最後に、谷崎講師へ質疑応答

エアープラシメイクアップの今後や、エアープラシ以外にも現場のお話など、受講生の方々からの色々な質問に対して、谷崎講師は丁寧に答えてくださいました。



講習会を終えて谷崎講師より

「今回は、エアープラシスキルとしては初級レベルの講習内容でしたが、全員が一日でかなり上達でき、内容的には十分なものだったと思います。手に入れた機材と化粧品で練習を重ねスキルアップしていただき、今後は上級レベルでの講習会でまた新しいスキルを手に入れましょう。」

参加者の声

▼ エアープラシ未経験者の私でも分かりやすいように組み立てられた内容で、順序よく有意義に勉強できました。シリコンファンデーションのカバー力とナチュラルさを兼ね備えた仕上がりには驚き、感動しました。正直な所、少しお値段が高いかな、と思いましたがの申込でしたが、今では得をしちゃった気がします。参加させていたいただき本当に良かったです。
小澤悠子様 (JMA会員・千葉)

▼ エアープラシはすごく繊細で奥深いものだと感じました。自分の手の動かし方で色合い、イメージが変わる楽しさがとても良かったです。
これからも楽しいイベントやセミナーの提供をよろしくお願い致します。
丸中あかり様 (フライタル 大阪)

▼ エアープラシメイクはアートメイクとしてしか使えないのではないかと思っていました。コレを使いこなす事ができればメイクの幅も広がります。自分の武器になると感じました。また地方ではなじみが薄いので、しっかりと使いこなせる様になり、広めていくことができると思います。そして、セミナーに参加した事により、色々なアーティストの方とも交流ができ、私にとってはすごく大切な時間を過ごす事ができました。
織田真理様 (メイクアップアーティスト 大阪)

▼ 思ったように描く...には、かなりの修練が必要なのですが、敏感肌や乾燥肌への有用性に将来性を感じました。
酒見桂子様 (榎本一ラ 東京)

▼ 初心者でも練習次第で上手になりそうな予感の内容です。道具のお手入れは、とても大事な点だと改めて感じました。
持留朱実様 (JMA認定講師・鹿児島)

▼ とても楽しい授業がありがとうございました。ぜひ仙台でもエアープラシをおすすめ出来たらと練習をして、また機会がありましたら中級コースでセミナーをお願い致します。
野場陽子様 (JMA認定講師・宮城)

▼ 初めて人にメイクして、タイミングやメイクされている側の気持ちや気遣いが出来ていない事が解り、大切な事を学びました。エアープラシを使った感想は、バランスが難しいなと思ひ、コントロールの勉強を頑張りたいです。
間瀬暢広様 (JMA会員・神奈川)

▲ イメージメイクでは、ハンドメイクでここまでレベルは難しい、均一な白塗りを簡単に。まるで絵を描くように、狙った場所にラインを引く技も披露。